

情報政策課

オール庄原で市のPRにご協力を！
庄原いちばんロゴマークピンバッジ販売

市は、庄原いちばんロゴマークを活用した庄原市のPRを進めています。その取り組みのひとつとして、ピンバッジを作製しました。数量限定で販売しますので、市民の皆さんもぜひ着用いただき市のPRにご協力ください。

また、ロゴマーク入りのぼりも作製しました。現在、市庁舎や道の駅などへ掲示しています。市内外で開催されるイベントでも掲示する予定です。貸し出しもできますので、情報政策課広報広聴係へ（☎0824・73・1159）お問い合わせください。

ピンバッジ販売
販売開始 2月3日(月)
価格 1個800円

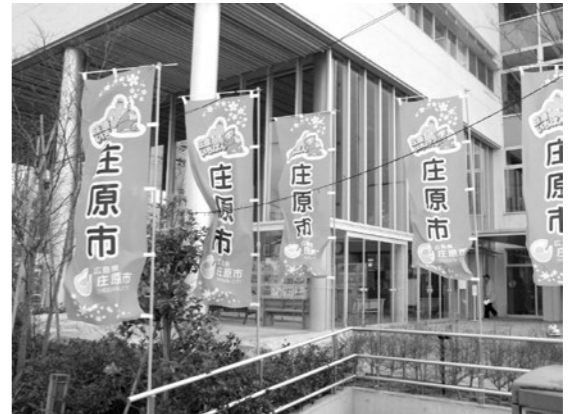
販売場所
本庁／情報政策課広報広聴係
支所／企画調整室自治振興係

販売個数 500個

※なくなり次第、販売を終了します。
※支払方法 現金納付

※納付書により、現金を市金庫などで支払い

※販売は直接販売のみです。市外などへの発送は対応できません。



本庁舎前に掲示しているのぼり



ピンバッジ

比和支所

来館者1千人超。躍動感ある展示が好評
比和自然科学博物館特別展

比和自然科学博物館特別展「花と鳥と虫たち」と小川光昭先生回顧展が10月11日から12月22日の期間、開催されました。

博物館内の特別展示室に、中学の理科教諭で市内の中学校でも教鞭をとった、故小川光昭さんが生前作製した鳥類のバードカービングや剥製標本など96点が並べられ、躍動感あふれる展示が来館者を楽しませました。特に、木に繊細な彫刻を施し作製されたバードカービングは本物そっくりで、来館者



展示品を鑑賞する来館者

は「今にも動き出しそう。よく見ないと木で出来ているとは気づかない」と、驚きの表情を見せていました。11月25日には、特別展への来館者が1000人を突破。1000人目の来館者となった安芸郡府中町の新川正之さん、とし江さん夫妻に、進藤眞基館長から記念品が贈られました。



1000人目の来館者となった新川さんご夫妻。左は進藤館長

生涯学習課

松江自動車道建設で見えられた
遺跡の調査成果を紹介
企画展記念講演会

11月1日から12月15日まで開催した企画展「高速道の建設でわかった中国山地の歴史」の記念講演会を11月30日、庄原市田園文化センターで開催しました。

この日、発掘調査を担当した公益財団法人広島県教育事業団埋蔵文化財調査室の調査研究員・山田繁樹さんと山澤直樹さんが、高速道建設に伴う発掘調査の成果と口和町の古墳で見つかった短甲（古墳時代のよろい）をテーマに講演。

その中で、昨年3月に開通した松江自動車道の建設で調査された数多くの遺跡が紹介され、庄原市や周辺地域の最新調査成果が発表されました。また、口和町の曲（まがり）第2号古墳から



松江自動車道建設で見つかった遺跡の説明を聴く参加者

見つかった短甲も紹介されました。この短甲は庄原市内で初めて発見されたもので、完全な形のものはいずれも3点しか見つからない非常に貴重な資料です。

会場には50人近くの方が訪れ、発掘調査で明らかになった庄原市の歴史に、熱心に耳を傾けていました。

総務課

戦場の現実を熱く語る
庄原市人権講演会

庄原市人権講演会を12月2日、市民会館で開催し、650人余りが来場しました。

今回は、戦場カメラマンの渡部陽一さんが、「世界からのメッセージ」と題して講演。

渡部さんは、戦場で出会った子どもたちを撮影した写真のスライドを映しながら、戦場カメラマンになったきっかけや戦争の恐ろしさなどを、ジェスチャーを交えながら独特の語り口で講演。講演後には来場者の質問に答え、「今の子どもには、どんなことでもいいから精一杯チャレンジしてほしい」とメッセージを送っていました。



身振り手振りを交え表現豊かに語る渡部さん

保健医療課

世代を超え、命を守る減塩環境づくり
庄原塩少々プロジェクト講演会

高血圧防止のための減塩について考える「庄原塩少々プロジェクト講演会」を11月14日、庄原市ふれあいセンターで開催し、市民約120人が参加しました。

講師に呉市日下医院院長・減塩サミットin呉2012代表の日下美穂さんを招き、家庭・地域での減塩の取り

組みについて参加者と共に考えました。日下さんは、日本人が塩分を過剰摂取している現状や、地域で減塩を普及して高血圧を改善できた実績を紹介し、減塩の大切さを強調していました。

参加者は「減塩の大切さがよくわかった」「自分や家族の健康のために減塩しよう」などと話していました。また、減塩レシピ（野菜のナムル）を試食した人は、「このくらいの塩気がいいんですね」とうなずいていました。

市は「全市民の血圧を5%下げる」を目標に、高血圧対策に力を入れています。今後もそれぞれの年齢層に応じた減塩活動を積極的に取り組んでいきます。



減塩の大切さを語る日下さん